

■ 1章 再編小学校在り方検討委員会について

1 再編小学校在り方検討委員会の設置目的及び所掌事務等について

〈山元町再編小学校在り方検討委員会設置要綱〉抜粋

(1) 設置目的

「山元町小・中学校再編方針（平成30年12月策定）」に基づき、再編する小学校の在り方について具体的な検討を行うため、山元町再編小学校在り方検討委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(2) 所掌事務

委員会は、次に掲げる事項について必要な意見を具申する。

- ① 望ましい学校形態に関する事。 → 学校形態に関する意見
- ② 特色ある学校づくり及び魅力ある学校づくりに関すること。
→ 学校施設の形態に関する意見、学校の特色に関する意見
- ③ その他再編する小学校について必要な事項に関する事。

(3) 組織等

委員会は、委員20人以内をもって組織する。委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- ① 保育所、幼稚園、小学校及び中学校の保護者代表 … 8名
- ② 各小・中学校運営協議会代表 … 5名
- ③ 各小・中学校長 … 5名
- ④ 学識経験者等 … 2名

2 再編小学校在り方検討委員会の開催状況

| 月日 | 委員会の内容 | 検討概要 |
|----------------|---|--|
| 令和5年 12月19日 | 令和5年度 第1回検討委員会 ○委嘱状の交付、委員長・副委員長選出 ○これまでの経緯の確認 ○小学校再編に関する取組の概要 ○スケジュールの確認 ○山元町の小中連携の現状 ○学校形態について | [基本的事項のおさえ] ●再編に係るこれまでの経緯 ●学校形態の種類とその違い、それぞれのメリット・デメリット ●学校施設形態の種類 ●視察先の決定→女川小・中学校 ・小中一貫校 ・施設一体型 |
| 令和6年 2月9日 | 令和5年度 第2回検討委員会 ○女川町立女川小・中学校の視察 | ◆委員14名、事務局（山元町教育委員会教育総務課）3名の参加 |

| | | |
|---------------|--|---|
| 3月13日 | <p>令和5年度 第3回検討委員会</p> <p>○女川小・中学校視察アンケートの結果をもとに検討</p> <p>・学校形態、学校施設形態、学校の特色について</p> | <p>◆女川小・中学校視察を受け、参考となったこと、山元町に生かしたいことを把握</p> <p>●視察先の決定→色麻学園</p> <p>・小中一貫校から義務教育学校に移行</p> <p>・既存の中学校に小学校を新設</p> |
| 令和6年 6月27日 | <p>令和6年度 第1回検討委員会</p> <p>・色麻町立色麻学園の視察</p> | <p>◆委員16名、事務局3名の参加</p> |
| 7月24日 | <p>令和6年度 第2回検討委員会</p> <p>○施設分離型小中一貫校の事例について</p> <p>○大郷町（小1校、中1校）の小中連携の取組について</p> <p>○色麻学園視察アンケートの結果をもとに検討</p> <p>・学校形態、学校施設の形態、学校の特色について</p> | <p>◆色麻学園視察を受け、参考になったこと、現段階での考えについて把握</p> <p>[基本的事項のおさえ]</p> <p>●施設分離型小中一貫校の確認</p> <p>●大郷町の小中連携の取組について</p> <p>[現段階での考えを把握]</p> <p>●学校形態については、小中一貫教育学校が望ましい。</p> <p>●学校施設の形態については、施設一体型か併設型が適当である。</p> |
| 8月23日 | <p>令和6年度 第3回検討委員会</p> <p>○再編小学校の在り方の方向性について検討</p> <p>・学校形態、学校施設形態、学校の特色について</p> | <p>[再編小学校の在り方の方向性]</p> <p>●学校形態については、小中一貫教育学校が望ましい。</p> <p>●学校施設の形態については施設一体型か併設型が望ましい。また、体育館や特別教室は複数設置が必要である。</p> <p>●学校の特色として下記に挙げるものを参考に検討する。</p> <p>・学校の特色をテーマとした教育活動にしっかりとした計画のもとに取り組む。</p> <p>・伝統文化の継承、地域の産業、地域との関わり、防災学習等</p> <p>・小・中学校合同行事</p> <p>・他地域、他校、他学年交流</p> |
| 9月26日 | <p>令和6年度 第4回検討委員会</p> <p>○報告書の原案について検討</p> | |
| 10月16日 | <p>令和6年度 第5回検討委員会</p> <p>○報告書について承認</p> | |